

第32回日本眼科手術学会総会 イブニングセミナー3

日時：2009年1月24日(土) 18:30～19:30

会場：ポートピアホテル 本館B1F 偕楽3(第7会場)

“眼科、炭酸ガス問題！”

～眼瞼手術に対する炭酸ガスレーザーの有用性～

座長 江口 秀一郎 先生 (江口眼科病院 院長)

略歴

1981年 日本大学医学部卒業	1993年 カリフォルニア大学サンフランシスコ校眼科客員教授	日本眼科学会評議員
1981年 東京大学医学部眼科学教室入局	1995年 東京大学医学部眼科専任講師	日本眼科手術学会理事
1986年 公立昭和病院眼科医員	1997年 江口眼科病院副院長	日本眼内レンズ屈折手術学会常任理事
1987年 医学博士授与(東京大学)	2004年 江口眼科病院院長	日本角膜移植学会理事
1988年 東京大学医学部眼科講師(病棟医長)		

これからは眼瞼下垂だ！

眼瞼下垂に対する手術加療は、従来、眼科手術全体の1～3%程度の頻度を占めるに過ぎず、一般の眼科術者が日常的に行う白内障手術等と比べると手術対象疾患としての注目度は極めて低かった。その理由として、①視機能回復に直結せず整容的な面が主体と捉えられていた。②外見、容貌に直結する手術でトレーニングし難い ③手術件数が少ない ④手術効果が不安定 ⑤教育素材、啓蒙機会が不十分、等が挙げられます。しかし、近年の研究により眼瞼下垂治療が視機能のみならず様々な不定愁訴改善に有用であることも報告され、手術方法、手術機器の飛躍的な改善と相まって、多くの眼科医が頼積極的に眼瞼下垂手術に取り組むべき時代が到来しています。本セミナーでは炭酸ガスレーザー手術装置を用いて行われる新たな小切開眼瞼下垂手術に関し、完成度の高い経皮的ミューラー筋タッキング手術を考案、実施されている宮田信之先生と、時流の先端を走り続ける永原國宏先生にご講演いただき、これら眼瞼下垂手術の啓蒙の一助となることを目指します。



『CO₂レーザーを使用した眼瞼下垂症手術』

演者 宮田 信之 先生 (岡田眼科 副院長)

略歴

1986年 横浜市大卒業	1992年 横浜市大形成外科助手 形成外科専門医
1988年 横浜市大臨床研修医修了	1994年 横浜市大眼科助手
1988年 横浜市大形成外科入局	1996年 横須賀共済病院眼科医長
1989年 国立ガンセンター頭頸部外科	1998年 佐伯眼科クリニック 眼科専門医
1990年 横浜市大救命救急センター	2001年 岡田眼科 学位取得
1991年 関東労災病院	2003年 岡田眼科副院長



『白内障手術医は美容整形外科医になれるか??』

演者 永原 國宏 先生 (聖母眼科医院 院長)

略歴

1977年 東邦大学医学部卒業
1977年 慶應義塾大学医学部眼科学教室入局
1984年 虎ノ門病院眼科勤務
1989年 坂出聖マルチン病院、聖母眼科勤務
1993年 聖母眼科院長



共催：株式会社日本ルミナス

<http://www.lumenis.co.jp>